



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第2009号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 プケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 諏訪部照久 幹事 千葉 慎二



広重版画より 三島 朝霧

第2072回例会

2015.5.24日

国際交流フェア

於:三島商工会議所

司会

栗原達治君

ロータリーソング

「奉仕の理想」
指揮 古川喜仁君

会長挨拶

会長 諏訪部照久君



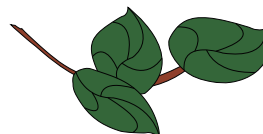
皆さん今日は。本日の例会は三島市国際交流協会との共催による第22回三島市国際交流フェアに参加します。このフェアのお手伝いをする事によって①在住外国人との交流を通して、相互理解と友好親善を深める。②国際奉仕、親睦、社会奉仕活動を通して、ロータリーの認知度向上をはかることが目的です。ちなみに、三島国際交流協会の概要は1992年に設立され、三島市民と外国の人々との友好親善をテーマに、様々な交流を通じ国際化時代に相応しい三島市の街づくりに貢献することを目的として、総務・姉妹都市交流・教育文化事業・在住外国人交流・広報の5つの委員会を中心に活動をすすめている団体です。

今日は朝から集合となりましたが、趣旨をご理解いただきご協力のほどをよろしく願いしまして、会長挨拶とさせていただきます。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席正率
前々回	39/46	84.78%	42/46	91.30%
今回	27/41	65.85%	会員総数	49名

欠席者 石井(彰)君、石井(良)君、宇田川君、遠藤(正)君、勝間田君、木村君、椋山君、瀬川君、登崎君、長田君、西本君、花房君、前田(房)君、米山君



2014~2015年度
国際ロータリー会長
ゲイリー・C.K.ホアン

ロータリーに輝きを

国際交流フェア



ROTARY NEWS

タブレット端末を利用した教育支援

フィジー第3の島、タベウニ島。豊かな風土に恵まれ、美しい夕暮れや滝が有名なこの島は、通称「garden island」（庭園の島）とも呼ばれています。島には多くの観光客が訪れますが、地元の人たちは観光客との交流を除いては、ほとんど外部との接触なく生活しています。主な雇用主は政府で、そのほかの仕事は農業がほとんどです。島で学校に通う学生のうち、高校を卒業するのは30%、大学に進学するのは10%に留まっています。また、住民は、貧困と不十分なインフラにより、現代のテクノロジーを十分に利用することができません。

タベウニ島のブカレブ高校に通う17歳、アセナカ・セパさんは看護師になることを夢見ており、彼女のクラスメート、ライセニア・キディアさんは、海洋生物学を学びたいと考えています。そこで生徒たちがもっとテクノロジーを学んで活用し、大学へ進学したり、就職できるよう、タベウニ・ロータリークラブが立ち上がりました。

「コンピューターのスキルをしっかりと身につけて、社会に出てもらいたい」と話すのは、同クラブ会員のジョフリー・エイモスさん。オークランド技術大学、ニューマーケット・ロータリークラブ、ボタニー・イースト・タマキ・ロータリークラブ、エラーズリー・サンライズ・ロータリークラブ（ニュージーランド）と協力し、タベウニ島のロータリアンは、ブカレブ高校とニウサワ・メソジスト高校に70台のタブレット端末を寄贈するプロジェクトを実施しました。第9920、9970地区からの資金提供、さらにロータリー財団からのマッチング・グラントも受けたプロジェクトです。

タブレット端末の使い方について研修を担当したのは、カナダ出身で、ニュージーランドへ留学経験のあるロータリー奨学生、ケルシー・コックスさんです。「この小さな端末から、かなりの情報を得ることができるので、教室の外に広がる広い世界について学ぶのに最適です」とコックスさんは話します。